

社会福祉法人育桜福祉会 第6生活ホームいくおう

地域連携推進会議 議事録（公表）

以下の通り、地域連携推進会議を開催いたしましたので公表します。

開催日時	令和7年10月9日（木） 14時00分より15時00分まで	
会場	第6生活ホームいくおう	
運営事務局 (2名)	第6生活ホームいくおう 管理者	
	第6生活ホームいくおう サービス管理責任者	
参加者 (3名)	役割	立場
	入居者を代表する者	利用者 A
	入居者家族	利用者 B 家族
	障害福祉に知見のある者	連携施設（通所施設）家族会役員
欠席者 (2名)	行政担当者	多摩区地域みまもり保健センター担当
	地域の関係者	近隣自治会役員
議事内容		
<p>1 開会の挨拶（趣旨説明）</p> <p>初めに運営事務局より定刻で開会が宣言され、管理者より地域における居住の場であるグループホームは、障害のある方の住まいとして日々の生活を支援していること、暮らしの場であるが故の閉鎖性や密室性により、障害者虐待が起きやすい構造にあることも指摘されている。グループホームの生活の様子を地域の方に見ていただき、知っていただくとともに、障害者虐待防止の取組み、金銭等管理の仕組み、利用者からの苦情受付の仕組み、災害時への備えなどについてもご紹介することで開かれた事業所運営を目指していきたい旨の趣旨説明が行われた。</p> <p>2 自己紹介</p> <p>運営事務局及び参加者が各自自己紹介を行い、管理者よりそれぞれの立場・役割についての説明が補足された。</p> <p>3 事業説明</p> <p>管理者より利用者が安心して生活するための仕組みとして、世話人体制や運営センターによるサポートの現状を紹介し、続けて金銭等管理の仕組みや職員との情報共有及び人材育成に関する事項について説明された。</p> <p>4 事業所見学</p> <p>サービス管理責任者が事業所内を案内し参加者に見学していただいた。利用者 A は自身の部屋を参加者に紹介し、自身で描いた絵やゲーム機のこと、趣味や通所先での様子などを説明された。</p>		

5 質疑応答

入居者Bのご家族からは、本人のこだわりから入浴や整容を拒んだりすることがあり、衛生面での心配があること。また、何かあったときに頼れるように、近隣とのつながりの中で、地域資源を味方にできると嬉しい旨のお話があった。

連携施設の家族会役員より、現在ホームに入居していない家族も、どうにもならなくなった時にすぐに入居できるわけではないことから、利用に向けた検討をしていくタイミングも大事なのではないかとのご意見をいただいた。

6 閉会挨拶

管理者より、貴重な意見交換となったことへの感謝を述べ、定刻で閉会した。